

こどもまんなかアクション リレーシンポジウム in くれ ～「こどもまんなかシンポジウム」での発表と学び～

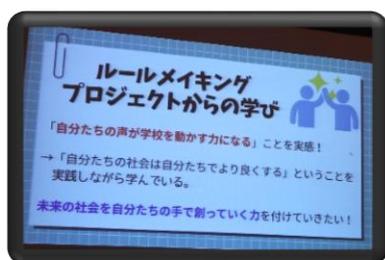
12月20日(土)、「こどもまんなかアクションリレーシンポジウム in くれ」が開催され、本校の生徒会執行部が参加しました。「自分たちで決める今と未来」をテーマに、本校が取り組む「みんなのルールメイキングプロジェクト」について堂々と発表する姿は、非常に素晴らしいものでした。その内容に対し、こども家庭庁の方からは、「生徒が先生を巻き込み、みんなで盛り上げていく進め方は、全国の学校のお手本になる素晴らしい知恵(ナレッジ)だ」と、最高のお褒めの言葉をいただきました。「自分たちの声を届け、行動すれば、学校は変えられる」。これを自ら証明し、主体的に考え発信できる集団へと大きく成長した皆さんは、安浦中学校の大きな誇りです。生徒と先生が一体となって評価されたことは、大変喜ばしい出来事でした。



また、シンポジウム後半のトークセッションでは、元広島東洋カープの安部友裕さん、中田廉さん、カタリバ、子ども家庭庁の方々が対話を行いました。安部さんの「失敗を恐れず挑む勇気」、中田さんの「ルールの中で枠を外していく自由の難しさ」という言葉は、プロの視点から「自己決定」に伴う責任と重みを教えるものでした。

▶ 呉市立安浦中学校の取組

- ・生徒会執行部からのアイデアだし
- ・文化祭でのアイデア実現
- ・全校生徒の思いの調査 e t c...



新原芳明呉市長から「安浦中学校の皆さんがカタリバからのコーディネーターの派遣を受けて取り組んだルールメイキングについて、素晴らしい発表をされました。」と評価していただきました。

シンポジウムでの発表から、生徒たちは「自分たちの力で環境を変えられる」という自信と、自ら決断することの大切さを深く学びました。安浦中学校はこれからも、生徒一人ひとりが自らの未来を主体的に拓いていく力を育てていきます。